

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第24724報)

2023年 6月 3日 14時50分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者: 田南 達也
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記のとおりお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド関連パラメータ [6月3日11時00分現在] ・サブドレン等 分析結果 [採取日 6月2日] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 6月2日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 6月2日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 5月31日、6月2日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 6月2日] <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、6月4日に排水を実施します。</p> <p>排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 5月30日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の(有)・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2023年6月3日 11:00現在

2023年6月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.4 m ³ /h CS系: 1.3 m ³ /h	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 0.0 m ³ /h	給水系: 3.4 m ³ /h CS系: m ³ /h	※6 ※6
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 212 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 196 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 206 °C	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 29.0 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 34.6 °C	スカーション上部温度 (TE-2-3-69F1): 25.0 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 22.1 °C	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 20.7 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 20.6 °C	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 29.1 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 29.2 °C	PCV温度 (TE-16-002): 22.3 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 22.9 °C	
原子炉格納容器 圧力	0.33 kPa g	3.21 kPa g	0.47 kPa g	
窒素注入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nm ³ /h (RVH-B): 15.00 Nm ³ /h (JP-A): 15.07 Nm ³ /h (JP-B): - Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: 6.44 Nm ³ /h RPV-B: 6.55 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	RPV-A: - Nm ³ /h RPV-B: 16.39 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	19.2 m ³ /h	15.71 Nm ³ /h	20.97 Nm ³ /h	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol%	A系: 0.00 vol% B系: 0.02 vol%	A系: 0.10 vol% B系: 0.09 vol%	
原子炉格納容器 放射能濃度 {Xe135} ※2	A系: 指示値 691E-04 検出限界値 4.89E-04 B系: 指示値 1.19E-03 検出限界値 3.47E-04	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.2E-01	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01	
使用済燃料プール 水温度	27.3 °C	26.1 °C		※5
FPC 注水ノズル 水径	3.85 m	4.35 m	3.75 m	68.6 X 100mm

【注釈事項】
※1: 指示値は0.00vol%未満と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナズ表示される場合があるため)
※2: 指示値は放射能濃度の単位としてBq/gと記載する。原子炉格納容器内での放射能濃度は、原子炉格納容器内での放射能濃度 (Xe135) を記載する。
※3: 排気流量の単位は、1分間で排出される体積を記載する。原子炉格納容器内での放射能濃度は、原子炉格納容器内での放射能濃度 (Xe135) を記載する。
※4: 注水流量の単位は、1分間で注入される体積を記載する。
※5: 作業に伴い、排気流量が変動する可能性がある。

【補遺事項】
各計測器については、計測方式の誤差や機器の劣化等によって、通常の計測精度と異なる結果を示す可能性があります。計測結果を確認する際は、計測器の仕様書や校正記録を参照してください。また、計測器の故障や異常が発生した場合、計測結果の信頼性が低下する可能性があります。計測結果の信頼性を確保するため、計測器の定期的な点検と校正を行う必要があります。

3/11

2023年6月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

サブドレン等 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機サブドレン	2023/06/02 07:08	< 6.9E+00	< 4.9E+00	1.2E+02
2号機サブドレン	採取中止	—	—	—
3号機サブドレン	2023/06/02 07:38	< 4.8E+00	< 4.2E+00	< 4.3E+00
4号機サブドレン	2023/06/02 08:11	< 4.5E+00	< 5.8E+00	< 3.8E+00
5号機サブドレン	2023/06/02 08:56	< 4.1E+00	< 3.9E+00	< 4.3E+00
6号機サブドレン	2023/06/02 08:43	< 4.7E+00	< 4.2E+00	< 4.3E+00
構内深井戸	—	—	—	—

・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・採取中止理由：工事作業干渉のため

4/11

2023年6月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (V)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2023/06/02 08:11	< 4.5E+00	< 5.8E+00	< 3.8E+00
プロセス主建屋北東	2023/06/02 08:16	< 3.8E+00	< 4.2E+00	< 4.8E+00
プロセス主建屋南東	2023/06/02 08:21	< 4.5E+00	< 5.5E+00	< 6.2E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2023/06/02 08:36	< 4.2E+00	< 4.9E+00	< 4.3E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2023/06/02 08:31	< 4.7E+00	< 4.5E+00	2.4E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2023/06/02 08:41	< 4.7E+00	< 3.9E+00	< 4.3E+00
サイトバンカ建屋南東	2023/06/02 08:26	< 4.8E+00	< 5.5E+00	< 4.3E+00

・核種の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.OE±Oとは、 $0.0 \times 10^{*O}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

2023年6月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2023/06/02 08:45	3.5E+00	< 5.2E-01	1.5E+00
物揚場排水路	2023/06/02 08:55	4.2E+00	< 6.7E-01	2.8E+00
K排水路	2023/06/02 06:00	5.3E+01	6.2E-01	3.5E+01
BC排水路	2023/06/02 06:00	3.5E+00	< 5.0E-01	< 5.3E-01
D排水路	2023/06/02 08:50	< 2.9E+00	< 4.9E-01	< 7.3E-01
5,6号機排水路 ^{※1}	—	—	—	—

- ・核種の半減期：Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。
(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は28 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/11

2023年6月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所
環境推進センター

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	その他の観測対象					Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)
				Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)		
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 *1	2023/05/31 07:38	< 1.5E+01	8.0E+02	-	-	-	-	-	-	9.6E+01
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・検出限の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約5年)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不詳号(＜：小なり)は、検出限界未満(ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E.Oとは、 0.0×10^0 であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外は既定値を知らず。

※1 No.1-9は、検出限による採取であるため、測定は実施せず。全βは参考値としてご査閲に請旨。

7/11

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・γ・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目											
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	RU-106 (Bq/L)	Sr-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
1,2号機ワエルポイント 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-5 ※2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.2-6	2023/05/31 07:48	6.7E+02	1.9E+03	< 2.3E-01	< 3.0E-01	< 2.6E+00	< 1.0E+00	4.9E-01	1.9E+01	-	-	-	
No.2-7	2023/05/31 07:43	4.1E+02	1.6E+03	< 3.7E-01	< 4.0E-01	< 4.2E+00	< 1.6E+00	4.3E-01	2.8E+01	5.7E+02	-	-	
No.2-B		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2,3号機修ワエル 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-3		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-4		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-5 ※2		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3,4号機修ワエル 汲み上げ水		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

検出限の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sr-125(約9年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

不平等 (<:小括弧) は、検出限界未満 (ND) を表す。

測定回数および採取中止の項目は「-」と記す。

0.0E+0とは、0.0x10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1x10¹で31, 3.1E+00は3.1x10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1x10⁻¹で0.31と読み。

H-3以外は既にお知らせ済み。

※2 No.2-5, No.3-5は、排水漏による採取であるため、Y値定は表載せず。全βは参考値としてる段階に測定。

011

2023年6月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所カンパニー

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目										
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2023/06/02 07:26	1.7E+04	< 2.4E-01	< 2.2E-01	< 2.3E+00	< 8.9E-01	< 2.7E-01	1.7E+00	-	-	-	
No.1-6	2023/06/02 07:54	1.9E+06	< 1.0E+02	< 6.4E+01	< 3.7E+03	< 2.2E+03	1.0E+04	4.7E+05	-	-	-	
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-9	2023/06/02 07:20	1.4E+01	-	-	-	-	-	-	-	-	9.4E+01	
No.1-11	2023/06/02 07:16	1.6E+02	< 3.3E-01	< 3.6E-01	< 3.0E+00	< 1.3E+00	< 3.3E-01	2.5E+00	-	-	-	
No.1-12	2023/06/02 08:09	4.5E+02	< 8.6E-01	< 1.1E+00	< 1.3E+01	< 6.0E+00	2.7E+00	1.1E+02	-	-	-	
No.1-14	2023/06/02 07:40	2.9E+04	< 5.5E-01	< 4.0E-01	< 5.9E+00	< 2.0E+00	< 7.4E-01	1.5E+01	-	-	-	
No.1-16	2023/06/02 08:16	4.1E+04	< 3.1E-01	< 2.8E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	< 4.4E-01	2.4E+01	-	-	-	
No.1-17	2023/06/02 07:30	1.6E+05	< 4.9E-01	< 4.2E-01	< 6.0E+00	< 2.4E+00	< 5.7E-01	6.9E-01	-	-	-	

・ 採測箇の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・ 不検号 (< ; 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・ 測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・ O.OE+0 とは、 0.0×10^0 であることを意味する。

(例) 3.1E+01 は 3.1×10^1 で 31、3.1E+00 は 3.1×10^0 で 3.1、3.1E-01 は 3.1×10^{-1} で 0.31 と読む。

※ 1. No.1-9 は、排水路による採取であるため、V測定対象値です。全βは参考値としてろ過後の測定。

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										
		全β					その他の放射性核種					
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Rn-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
1,2号機ウエルポイント 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-5 *2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2-6	2023/06/02 08:27	6.6E+02	< 2.4E-01	< 2.3E-01	< 2.4E+00	< 8.9E-01	< 2.0E-01	7.4E+00	—	—	—	—
No.2-7	2023/06/02 08:33	3.3E+02	< 3.1E-01	< 3.8E-01	< 3.7E+00	< 1.3E+00	< 5.6E-01	4.2E+00	5.3E+02	—	—	—
No.2-8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2,3号機改修ウエル 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.3-5 *2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,4号機改修ウエル 汲み上げ水	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 検測面の平均値: Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Rn-106(約378日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

* 不検出 (<: 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

* 測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

* O.O.E±Oとは、O.O×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00d3.1は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と表す。

* No.2-5, No.3-5は、検出能による検取であるため、Y値は参考値としてご連絡に判定。

11

2023年6月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内、放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2023/06/02 09:15	—	< 8.1E-01	< 5.5E-01
1F 6号機取水口前	2023/06/02 09:10	< 1.3E+01	< 2.8E-01	< 3.2E-01
1F 物揚場前	2023/06/02 09:00	< 1.3E+01	< 3.2E-01	9.3E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2023/06/02 08:40	1.4E+01	< 3.9E-01	1.1E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2023/06/02 07:03	< 1.3E+01	< 4.4E-01	4.0E+00
1F 南放水口付近 (T-2) ※	2023/06/02 06:30	1.3E+01	< 8.1E-01	< 8.7E-01
1F 港湾口 (T-0)	2023/06/02 06:49	< 1.4E+01	< 3.7E-01	< 2.7E-01
1F 港湾中央	2023/06/02 06:43	< 1.4E+01	< 3.2E-01	5.2E-01
1F 港湾内東側	2023/06/02 06:46	< 1.3E+01	< 3.1E-01	4.4E-01
1F 港湾内西側	2023/06/02 06:41	< 1.3E+01	< 3.5E-01	< 3.3E-01
1F 港湾内北側	2023/06/02 06:38	1.5E+01	< 3.5E-01	< 3.0E-01
1F 港湾内南側	2023/06/02 06:52	< 1.3E+01	< 3.4E-01	< 3.6E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
WHOの飲料水水質ガイドライン※1			1.0E+01	1.0E+01

・核種の半減期：Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)

・不等号 (< : 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31，3.1E+00は3.1×10⁰で3.1，3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※1 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、Cs-134，Cs-137の指標

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

※試料採取作業の安全確保ができないため、採取地点を1~4号機放水口から南側に約1300mの地点に一時的に変更。

11

2023年6月3日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	その他 γ核種
一時貯水タンク (サンプルタンク)	F 2023/05/30-07:41	1,150	東京電力 東北緑化環境保全(株)	< 1.7E+00 < 3.8E-01	8.5E+02 9.4E+02	< 6.6E-01 < 5.7E-01	< 6.2E-01 < 7.0E-01	検出なし 検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) ※1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと※2
告示濃度限度※3					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
WHO飲料水水质ガイドライン					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND) を表す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を1 Bq/Lに下げ分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])